

包装管理士講座

■受講募集期間：2024年2月1日(木)～3月15日(金)

斯界の権威者・経験者を講師陣に迎え、短期集中で実務研修
包装・流通のスペシャリスト養成講座

短期集中で
包装の実務が
身につく

出願は
お早めに



会期：2024年6月5日(水)～9月11日(水)〈13日間〉

主催：🏠 公益社団法人日本包装技術協会 (JPI)

第59期 包装管理士講座(2024年度)研修委員

(敬称略)

研修委員長 大澤 總弘 吉田製薬(株) 顧問 (包装専士)

副研修委員長 園山 洋一 (公社)日本包装技術協会 専務理事(包装専士)

研修委員 井上 伸也 井上包装管理士事務所 代表 日本包装管理士会 理事 (包装管理士)

〃 岡崎 義和 (株)日東ディード 技術相談役 (包装管理士)

〃 坂巻 千尋 トップラン・ヒューマン・インフォメーション・サービス(株)

〃 下山田正博 下山田包装技術事務所 所長 (包装管理士)

〃 鈴木 雅彦 (株)東北ウエノ 代表取締役 (包装専士)

〃 國弘 武嗣 大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 ビジネスクリエイションセンター
プロダクト開発本部 プロダクト開発部 (包装管理士)

〃 山口 秋司 山口包装設計事務所 所長 (包装管理士)

〃 高橋 二郎 (株)石野製作所 専務取締役 (包装専士)

〃 柴田 幸樹 ヤマハ発動機(株) 生産本部 製造統括部 組立工場 袋井KD課
KD管理課長 兼 物流技術グループ リーダー

〃 竹下三四郎 セイコーエプソン(株) P商業・産業企画設計部 課長 (包装管理士)

〃 高山 崇 キューピー(株) 技術ソリューション研究所(包装管理士)

〃 下前 拓己 ダイキン工業(株) 物流本部 物流技術センター 包装技術担当課長(包装専士)

〃 阿曾 政志 (株)ロッテ 浦和工場管理部 生産企画課 エキスパート (包装専士)

〃 武田 正臣 三菱電機(株) 生産技術・ロジスティクス部 (包装専士)

〃 小籠 宣幸 (公社)日本包装技術協会 常務理事 事務局長

※社名・役職は依頼時のものです

本講座の特徴

今、求められる知識・情報を幅広く習得

本講座は、包装に携わる方々にとって必要不可欠な知識から社会ニーズの変化に対応した包装の最新情報まで幅広い内容をもって構成されています。

■大きな特徴として、

- ①受講生並びに研修委員が「集合研修」を通して、目的意識の明確化、コミュニケーションを図り、有意義な交流を図ります。
- ②「一般講義」では包装に関する科学的・実践的な幅広い知識を、事例やトレンドを交えて学習します。
- ③「合宿研修」(ケーススタディ)では選択コースごとに包装を実際に企画・設計・作成し、グループで討議、発表、評価を行うことで、実務に即した体験が習得できます。
- ④新しい時代に即応する人材の養成を行います。

本講座は前年までに15,956名の包装管理士を送り出し、その活躍ぶりは各界において多大な評価と注目を集めております。

どうぞこの機会にさらなる知識の習得をご検討ください。

講座受講のメリット

本講座を修了し包装管理士の資格を取得された皆様から以下のような感想を頂いております。

〈原文通り〉

- 年齢や業種は関係なく包装に係わる様々な立場の方々とグループディスカッションやプレゼン等で交流できたことにより、受講後も相談や商談の機会を得ることができネットワーク作りに役立ちました。
- 課題やレポート、論文などの作成を通じて、自ら調べて解決することで知識を応用する力と文章構成、理論展開する力も身につきました。
- 実習で実際に作業することにより実務では携われない業務の理解が深まりました。
- 自らの業務とは異なる素材や容器包装に関する科学的・実践的な知識を、事例やトレンドも交えて集中的に学習することができました。
- あいまいであった知識をしっかりと習得することができました。
- 専門業者任せになっていた包装業務が受講により知識が身についたことで、協同で取り組めるようになりました。
- 資材構成など、商品開発部門と対等に話ができるようになりました。
- 梱包改善による輸送・品質向上及びコスト削減などの活動に活かせてます。
- 素材の知識を高めることによりお客様への提案の幅が広がりました。
- 包装管理士の肩書が名刺にあると初対面でも話題となり営業活動に役立ってます。etc.

講座のフローチャート（開講日程）

●本講座は下図のスケジュールで進行します。

注) ただし感染症・天災・事故などの影響により、対面で開講を予定しているプログラムは中止もしくはオンラインに変更する場合があります。予めご了承ください。

●出願時に「専攻コース（生活者包装コースか輸送包装コース）」を選択してください。

注) 専攻コースにより専門教科と対面研修の日程や講義内容が異なります。

●材料教科と専門教科は「受講方法（対面かオンライン）」を選択してください。出願後の変更は出来ません。

なお感染症等の影響により対面受講を選択されましてもオンライン受講に変更頂く場合があります。



講義内容

1. 統括教科・材料教科(全受講者必修)

	講義科目	主な内容
統括教科	包装の社会的役割	包装の役割/包装と暮らし/包装に要求される諸機能/包装産業の課題と展望
	サステナブルな社会と包装	サステナブルな社会とは/サステナブルパッケージ/環境対応とパッケージ/サステナブルパッケージの事例
	包装機械とそのシステム化	包装機械業界を取巻く主な課題と対応/包装機械の分類/包装機械生産実績/包装ラインのシステム事例
	包装に関する法律	法規制体系の例/包装に関する法律とその趣旨/主な法律と業界自主基準の概説/SDGsとCSR
材料教科	紙器・紙容器	紙器とは/求められる機能/材料/分類と基本形態/製造工程/加工/製造後の保管管理
	段ボール	段ボール用原紙/段ボール/特殊段ボール/段ボール箱/段ボール包装技術
	プラスチック容器	プラスチック容器の定義・種類・製造方法/プラスチック成形容器包装材の試験法
	ガラス容器	原材料/製造方法/強度/化学的耐久性/公的基準/軽量化/包装/今後の方向
	プラスチックフィルム	基本的性質/製膜法/フィルムの種類/フィルムの各論/改良方法と加工
	金属容器	生産及び使用動向/分類及び製造方法/金属材料の諸特性/再資源性

2. 専門教科

(生活者包装コース・輸送包装コースのいずれかを選択)

	講義科目	主な内容
専門教科(生活者包装コース)	マーケティングリサーチと商品開発	定義と役割/種類/パッケージテストの意義と方法/マーケティングリサーチの意義
	パッケージデザイン技法	表現される情報/表現上での基本的な考え方/デザインの要素と役割/表示のあり方とレイアウト
	印刷と包装	印刷の歴史と産業規模/印刷の種類と特徴/印刷インキと印刷材料/包装への印刷
	食品包装	食品包装の意義と目的/包装設計/包装材料/殺菌/包装技法/流通/環境と課題
	包装による食品保存と鮮度保持	食品科学と組成・成分/品質劣化要因/微生物制御方法/水分活性とpH/保存技法/青果物・生鮮肉類の鮮度保持包装
	包装材料の品質と安全・衛生管理	包装の安全・衛生管理とは何か/安全・衛生管理の基準/法規の概要
医薬品包装	医薬品の定義・区分と法規制/医薬品包装/包装技法/包装設計/包装の表示	
異物混入防止	食品への異物混入事例とその対策・方法	

	講義科目	主な内容
専門教科(輸送包装コース)	流通経路の条件	流通経路の条件が包装に与える要因/包装技術業務と流通経路の条件/振動現象
	輸出包装	輸出包装の種類と表示/計器類/輸送手段別包装/コンテナ輸送の特徴/輸出に必要な書類
	集合包装技法	包装設計の要件/集合包装の重要性/機能/手順/ストレッチ包装・シュリンク包装
	包装貨物及び容器の試験法	包装貨物試験の有用性とハザード別試験方法/JISの包装貨物試験規格/海外の包装貨物試験規格
	防錆・防湿技法	防錆包装のための金属腐食および防食概論/防錆包装の概要/水蒸気の透過現象/防湿包装設計
	緩衝設計技法	緩衝包装の目的/緩衝理論/緩衝材の緩衝モデル/緩衝材料/発泡材の緩衝包装設計/振動衝撃
	木箱包装設計	木材の特性/木箱の構造/木箱包装設計
	段ボール包装設計	包装設計条件/寸法設計/強度設計/包装貨物試験/コストを考慮した包装設計

募集要領

募集期間：2024年2月1日(木)～3月15日(金)(地域別受付)

*受付は先着順とさせていただきます。なお、上記期間内に下記定員に達した場合は締切らせて頂きます。

*同一受講者が複数地域へ出願をするなど、受講枠を確保する行為は固くお断り致します。

募集定員：445名

募集定員	東京	大阪	名古屋	福岡	仙台	札幌
	220名	100名	65名	30名	15名	15名

○統括教科はオンラインで開講します。

○材料・専門教科は出願時にオンラインか対面のどちらかの受講スタイルを選択頂きますが、受付は先着順とさせていただきます。ご希望に沿えない場合があります。

また選択頂きました受講スタイルを出願後に変更することは出来ません。

○集合研修(6月)と、合宿研修(9月)は対面で実施致します。

○対面での開講は感染症等の影響により急遽オンラインに変更する場合があります。

受講資格：①高校卒業以上の基礎学力を有する22歳以上で、包装関連業務(企画開発・製造・調達・物流・営業販売など)を受講時までに満3年以上経験し、所属事業所(代表者もしくは上司)の推薦がある方

②大学院や高専等で包装分野に関係する専門的知識や学問を学んだ21歳以上で、包装関連業務(企画開発・製造・調達・物流・営業販売など)を受講時までに満1年以上経験し、所属事業所(代表者もしくは上司)の推薦があり、且つ本講座の研修委員長がその経歴を認めた方

受講料：

1名分受講費	会員	一般
本体	¥310,000	¥494,000
消費税10%	¥31,000	¥49,400
税込合計	¥341,000	¥543,400

○当会会員企業所属の方が関連会社等に出向している場合の扱いについて

当会会員企業に在籍している(当会会員企業と雇用契約関係にある)受講希望者が、非会員の関連会社などに出向している場合は会員として受付けます。

尚その際は、請求書の宛名・受講中の会社名・作成する印刷物の会社名などの全てを「当会会員企業名」で処理させていただきますので予めご了承ください。

○受講料に含まれるもの

テキスト・資料・集合研修時の昼食費・合宿研修時の宿泊費及び食事代

○受講料に含まれないもの

合宿研修初日と最終日の昼食

受講にかかる交通費、上記合宿研修以外の宿泊、その他個人的な費用等

○キャンセル料や受講費の払い戻しに関しましてはP16～17の受講規約にてご確認ください。

申込方法：申込み(出願)には受講規約への同意とオンライン講義を受講頂くための視聴環境の確認が必要です。必ず事前にP16～17に記載の「受講規約」と、P5に記載の「オンライン講義に関する確認のお願いについて」をご確認ください。

また願書記入の際はP18の注意事項をご参照ください。

作成頂いた願書は希望する地域の事務局に送付してください。

※仙台は「福岡事務局」に願書を送付してください。

申込受付：出願受付後、出願受領書及び請求書を受講者にお送りします。

※受講料は請求書に記載の指定口座に5月17日(金)までにお振込みください。

オンライン講義に関する確認のお願いについて

本講座のオンライン講義（双方向型のライブ配信）は、Zoomミーティングもしくはウェビナーを利用して実施します。

出願前に必ずZoomが利用できる環境であるかご確認ください。

①オンライン受講で利用するデバイス（PC等）について

- ◆受講は出願登録した方に限定し、1名につき1台のデバイス（PC等）で参加して頂きます。
- ◆カメラとマイクの利用が可能なデバイス（PC等）が必要です。
- ◆使用するデバイス（PC等）にZoomをインストールして頂きます。
Zoomが利用できない場合は受講いただけません。

②Zoomへの接続テストと操作方法の確認について

- ◆受講に使用するデバイス（PC等）で下記URLにアクセス頂き受講に支障がないことを確認してから出願してください。
- ◆受講前にZoomの基本的な機能の把握をお願い致します。
【Zoom接続テストURL】 <https://zoom.us/test>
※上記のZoom接続テストURLは2024年1月現在です

③利用回線について

ADSL、CATV（ケーブル）、光回線などの高速回線を有線接続で利用することを推奨します。また無線接続の場合はWi-Fiの利用を推奨します。

④オンライン受講に関するその他

- ◆講義時の講師に対するご質問はカメラ・マイク・チャット機能等を利用し講義終了後に行う予定です。
- ◆材料教科と専門教科の対面受講の講義会場にサンプル品を用意させて頂く場合がありますが、オンライン受講を選択された方はサンプル品を手にとって確認頂くことはできません。
- ◆受講者により運営を妨げる恐れがある場合は対象者の受講を中止させて頂く場合があります。
- ◆受講により発生したデータ通信費用、デバイスの故障、当会側の問題以外の回線・通信障害及び不良によるトラブル、その他視聴にあたり生じたいかなる損害についても弊会は一切の責任を負いません。
- ◆配信画面の著作権は弊会に帰属します。配信画面を、無断で複製（録画、撮影、ダウンロードなど）することや、それを転載転用、改変、配布、販売など、不正に利用することを固く禁止します。又、不正行為が発覚した場合は保存データの消去を求めたり法的措置をとらせて頂く場合があります。
- ◆弊会が利用しているシステムの障害や通信不良など、弊会側の問題により受講頂けなかった場合は、メール・HP・書面等を利用しお知らせすると共にその対応については改めてご案内致します。
- ◆オンライン講義で使用するツール等について
使用ツール：Zoom
授業の方式：同時双方向型
配 信 元：公益社団法人日本包装技術協会
配信の場所：AP日本橋（東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント6階）

◆合格後の称号及び資格について

1. 包装論文や試験結果等により研修委員会で合否を決定し、【包装管理士】(DEGREE OF J.P.I. PACKAGING CONSULTANT)「生活者包装」または「輸送包装」の称号を授与します。
称号は、合格証書授与式より使用可能となります。なお、合格証書授与式の実施日は出願地域ごとに異なります。
※事情により合格証書授与式を行えない場合は、合否通知発送月の翌月1日を証書の公布日とします。
2. 合格後の包装管理士有資格者は日本包装管理士会に入会できます。(別途有料)
日本包装管理士会(IPP)は日本包装技術協会(JPI)と別組織となります。

◆その他ご案内について

1. 感染症や天災等の影響で開講日時やカリキュラムを変更する場合は、JPIのホームページ等でご案内致します。
2. テキストは6月度の集合研修時に配布するか、願書に記載頂いた受講者のご住所宛に送付致します。なおその他別冊の資料がある場合はその都度配布もしくは送付致します。
3. 合宿研修時はシングルもしくはツインのお部屋に1名で宿泊頂きますが、その際の部屋割りは事務局にて行います。
※宿泊施設の都合上、禁煙・喫煙のご要望にお応えできない場合があります
4. 本講座は「人材開発支援助成金」の対象として認められる場合があります。なお助成金の申請と承認に関する一切の責任を弊会は負いません。予めご了承ください。
※申請を検討される場合は必ず出願前に厚生労働省が発行する最新の案内をご確認ください。
また本件に関するご質問は申請先の各都道府県労働局にお問い合わせください。

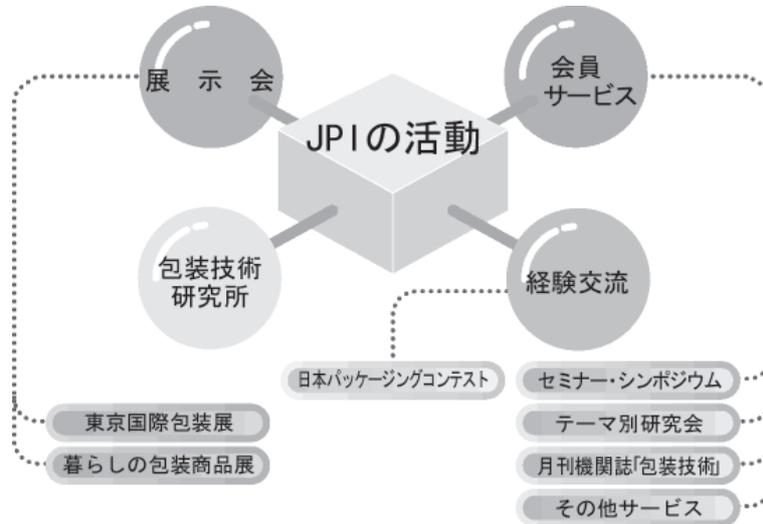
日本包装技術協会(JPI) 入会のお勧め

入会により包装管理士講座をはじめ、各種催しを会員価格でご利用頂けます。

例) 2024年度包装管理士講座(第59期)の場合

一般価格: 543,400円(税込) / 1名 ⇒ **会員価格: 341,000円(税込) / 1名**

その他、毎月開催される会員フォーラムへの無料参加や、毎月発行される機関誌「包装技術」の無料購読など、会員ならではのサービスをご利用頂けます。



■ 目的

本会は、広く包装に関する知識及び技術の普及推進に努め、生産、流通及び消費の分野における合理化を図ると共に、包装に係わる人材の資質向上に努め、もって我が国経済の発展、国民の社会生活の向上及び国際社会への貢献等、我が国の公益増進に寄与することを目的としています。

■ 事業概要

本会は、目的を達成するため、次の事業を行っています。

- ①包装に関する調査及び研究開発
- ②包装に関する情報資料収集、統計等及び提供
- ③包装に関する開発と啓発
- ④包装に関する教育の実施と人材の育成
- ⑤包装に関する相談及び指導
- ⑥包装に関する内外関係機関との交流及び協力
- ⑦包装に関するグローバルな活動
- ⑧包装に関する展示会の開催
- ⑨包装に関する書籍の出版及び販売
- ⑩包装に関する規格の作成、制定及びそれらの国内外への啓発活動

■ 入会方法

- 包装管理士講座への出願と併せて入会頂く場合は、
「必ず出願前にJPIホームページより入会手続きを行ってください。」
- 入会申込フォームに必要事項をご入力の上、送信してください。
- 登録完了後、登録員1名の方に確認メールが送られます。
申込を受理し会員と認められた後、
入会申込書(登録済み)および会費のご請求書をお送りします。



入会ページ用QR

【お願い】

1. 登録員の氏名、所属、役職、所在地等正確にご記入ください。
2. 包装管理士講座への出願と併せて入会頂く場合は、**「会社名の後に“包装管理士講座受講”と入力してください。」**
3. 会費支払いは前年払いとなっております。諸連絡並びに会費担当窓口は登録員記入用紙筆頭者の方にごさせていただきます。

入会に関するお問合せ先 kaiin@jpi.or.jp

日本包装技術協会が提供する包装人材育成講座における本講座の位置付け

※事情によりプログラムを変更する場合があります。最新情報は、各案内パンフレットでご確認ください。

STEP 1 包装新人コース

【開講(受付)】 本部(東京) 【開講月】 4月

包装新人コースは、これから包装業務に携わる方にも包装全般にわたる基礎知識を判りやすく体系的に解説致します。グループディスカッションにより交流を深め、今後のネットワーク作りに役立てることもできます。

講義内容

包装の役割と包装を取り巻く現状/生活者にやさしい包装～高齢者の視点から/包装に求められる包装材料とは/包装を取り巻く規制・法律について/包装設計の基礎と考え方～設計技法と事例～/輸送環境と包装/商品企画とパッケージデザイン/グループディスカッション

STEP 2 包装基礎コース

【開講(受付)】 本部(東京)・関西(大阪)・中部(名古屋) 【開講月】 5月

包装基礎コースは、各社の社員教育、また管理職の方々の体系付け等に利用されております。包装管理士講座の前段として、東京、大阪、名古屋で5月に開講しており、包装の基礎知識から昨今の諸問題に至るまで全般を体系化し各地域の需要に合わせたプログラムで実施しております。

講義内容

【本部(東京)】全4日間

包装概論と技法/板紙・紙器/プラスチックフィルム/ガラスびんと金属缶及びプラスチック容器/防湿技法・ガス遮断包装技法/食品包装設計の基本/パッケージデザイン概論/医薬品包装の基礎/段ボール/輸送包装の実際/輸送包装設計/段ボール包装設計

【関西(大阪)】全3日間

包装概論/板紙・紙器/段ボール/金属缶/プラスチック容器/プラスチックフィルム/ガラス容器/輸送包装/生活者包装技法

【中部(名古屋)】全2日間

包装の役割と包装設計の考え方/段ボール箱の基礎と応用/段ボール箱の設計/段ボール箱の製作/機能性プラスチック包装材料/緩衝包装設計/包装試験の目的と試験法/包装試験施設の見学/トータルコスト削減に向けた集合包装/包装改善とロジスティクス

STEP 3

包装管理士講座：包装経験年数満3年以上の方

STEP 4

包装専士講座：包装経験年数6年以上の方

【開講(受付)】 本部(東京) 【開講月】 6月～翌年3月(うち15日間)

包装専士講座はわが国最高レベルの講座であり、受講生は少人数制としマンツーマン方式による指導の徹底を図っています。プログラムは、包装に携わる人々に求められる知識や技術が体系的・科学的に整理されており、かつ実務的な内容になっています。経験豊富な講師陣による実践的で理論づけられた講義、事例研究、さらには実地研修など多彩な講師陣と教科構成により「包装の専門家」を育成します。

講義内容

【共通科目】

開講講演、環境課題について、包装産業とこれからの経営、包装ビジョン(知的財産、世界の包装市場、包装新技術、デジタルデバイスによるコミュニケーション変化と包装、環境配慮)

【専門教科】

「輸送包装」：易損性の測定・評価方法、段ボール設計技法、輸送環境情報活用技術(海上輸送、航空輸送、輸送試験、合理的包装設計)、緩衝設計技法(紙系、プラスチック系、シミュレーション活用実習)、国際物流(法規制、輸送包装技法)

「食品包装」：食品用高機能パッケージ、食品包装と品質保持、食品包装と微生物対策、食品包装および包装材料の安全性と法規制、食品メーカーの容器・包装の安全・衛生性、食品包装設計技術(固体・粉体包装、レトルト、アセプティック包装、包装機械・システム、包装試験法)、デザインの感性工学評価法

「包装材料」：包装材料科学、包装材料とコンバーティング技術、食品包装および包装材料の安全性と法規制、食品メーカーの容器・包装の安全・衛生性、高機能包装材料(軟包装、ガラス容器、プラスチック剛性容器、金属容器、紙容器、新包装材料)、デザインの感性工学評価法

「医薬品包装」：医薬品包装と情報伝達技術、医薬品包装設計技術、医薬品包装と品質保証、医療現場および在宅医療における医薬品包装(実地研修)、包材選択と対応技術、剤形別包装技術(液剤、固形剤)、医療過誤防止人間工学

生活者包装コース開講日程

※諸事情により、講師、会場等プログラムの一部を変更する場合があります



1. 集合研修(開講式・オリエンテーション・グループミーティング)

受講目的を明確にし、グループワークにおける他者との交流によりネットワークを広げます。

6月6日(木) ロワジュールホテル豊橋 10:00~16:30 ※9:00 受付開始予定

日	時	教科	講師 (敬称略)
6月6日(木)	10:00~10:45	開講式・オリエンテーション	研 修 委 員
	11:00~12:00	グループミーティング I	
	12:00~13:00	昼食休憩	
	13:00~16:30	グループミーティング II	

2. 一般講義 (3教科/18科目)

包装に関する科学的・実践的な幅広い知識を、事例やトレンドを交えて学習します。

①統括教科

6月12日(水) 9:30~17:10

日	時	教科	講師 (敬称略)
6月12日(水)	9:30~10:50	包装の社会的役割	野田治郎技術士事務所 TOPPAN(株) (株)フジキカイ 西包装専士事務所 (公社)日本包装技術協会
	11:10~12:10	サステナブルな社会と包装	
	13:30~14:30	包装機械とそのシステム化	
	14:50~16:20	包装に関する法律	
	16:40~17:10	包装論文の作成について	

②材料教科

6月18日(火)~20日(木) 9:30~16:30

日	時	教科	講師 (敬称略)
6月18日(火)	9:30~12:30	紙器・紙容器	TOPPAN(株) 王子コンテナ(株)
	13:30~16:30	段ボール	
6月19日(水)	9:30~12:30	プラスチック容器	東洋製罐(株) ユニチカ(株)
	13:30~16:30	プラスチックフィルム	
6月20日(木)	9:30~12:30	ガラス容器	東洋ガラス(株) 東洋製罐(株)
	13:30~16:30	金属容器	

③専門教科 (生活者包装)

7月9日(火)~12日(金) 9:30~16:30

日	時	教科	講師 (敬称略)
7月9日(火)	9:30~12:30	マーケティングリサーチと商品開発	(株)東急エージェンシー 大日本印刷(株)
	13:30~16:30	パッケージデザイン技法	
7月10日(水)	9:30~12:30	印刷と包装	大日本印刷(株) 味の素(株)
	13:30~16:30	食品包装	
7月11日(木)	9:30~12:30	包装による食品保存と鮮度保持	キューピー(株) 西包装専士事務所
	13:30~16:30	包装材料の品質と安全・衛生管理	
7月12日(金)	9:30~12:30	医薬品包装	アステラス製薬(株) (株)ハウス食品分析テクノサービス
	13:30~16:30	異物混入防止	

3. オンライン試験（包装管理士試験）

受験に向けた復習により得られた知識を定着させます。

日 時	内 容
8月26日(月) 10:00~12:00	解答時間60分(選択式) ※予定

4. 合宿研修（ケーススタディ・面接）

企画・設計・作成などの体験と、グループワークや経験豊富な講師陣との交流から実務に即した知識を習得し、今後に活かせるネットワークも構築します。

9月4日(水)～9月6日(金) ロワジュールホテル豊橋 9月4日(水) 12:00 受付開始予定

日 時	教 科	講 師 (敬称略)
9月4日(水) 13:00~18:00 9月5日(木) 8:30~18:00	ケーススタディ ①食品包装演習 (演習成果の発表・検討)	今田包装技術企画 キッコーマンビジネスサービス(株) 小林技術士事務所 日清オイリオグループ(株) 缶詰技術研究会
	ケーススタディ ②医薬品包装演習 (演習成果の発表・検討)	武州製薬(株) アステラス製薬(株) 住友ファーマ(株)
	ケーススタディ ③生活商品包装演習 (演習成果の発表・検討)	花王(株) 大日本印刷(株)
日 時	教 科	内 容
9月6日(金) 8:00~13:00	面接試験	本講座研修委員との個人面接 (面接時間 約5分)

輸送包装コース開講日程

※諸事情により、講師、会場等プログラムの一部を変更する場合があります



1. 集合研修(開講式・オリエンテーション・グループミーティング)

受講目的を明確にし、グループワークにおける他者との交流によりネットワークを広げます。

6月5日(水) ロワジールホテル豊橋 10:00~16:30 ※9:00 受付開始予定

日	時	教科	講師(敬称略)
6月5日(水)	10:00~10:45	開講式・オリエンテーション	研修委員
	11:00~12:00	グループミーティングⅠ	
	12:00~13:00	昼食休憩	
	13:00~16:30	グループミーティングⅡ	

2. 一般講義(3教科/18科目)

包装に関する科学的・実践的な幅広い知識を、事例やトレンドを交えて学習します。

①統括教科

6月12日(水) 9:30~17:10

日	時	教科	講師(敬称略)
6月12日(水)	9:30~10:50	包装の社会的役割	野田治郎技術士事務所 TOPPAN(株) (株)フジキカイ 西包装専士事務所 (公社)日本包装技術協会
	11:10~12:10	サステナブルな社会と包装	
	13:30~14:30	包装機械とそのシステム化	
	14:50~16:20	包装に関する法律	
	16:40~17:10	包装論文の作成について	

②材料教科

6月18日(火)~20日(木) 9:30~16:30

日	時	教科	講師(敬称略)
6月18日(火)	9:30~12:30	紙器・紙容器 段ボール	TOPPAN(株) 王子コンテナ(株)
	13:30~16:30		
6月19日(水)	9:30~12:30	プラスチック容器 プラスチックフィルム	東洋製罐(株) ユニチカ(株)
	13:30~16:30		
6月20日(木)	9:30~12:30	ガラス容器 金属容器	東洋ガラス(株) 東洋製罐(株)
	13:30~16:30		

③専門教科(輸送包装)

7月2日(火)~7月5日(金) 9:30~16:30

日	時	教科	講師(敬称略)
7月2日(火)	9:30~12:30	流通経路の条件 輸出包装	中嶋包装・輸送技術コンサルティング (株)リコー
	13:30~16:30		
7月3日(水)	9:30~12:30	集合包装技法 防錆・防湿技法	三菱電機(株) (株)アイセロ
	13:30~16:30		
7月4日(木)	9:30~12:30	包装貨物及び容器の試験法 緩衝設計技法	エクサーチ(株) 旭化成(株)
	13:30~16:30		
7月5日(金)	9:30~11:30	木箱包装設計 段ボール包装設計	NX商事(株) レンゴー(株)
	12:30~16:30		

3. オンライン試験（包装管理士試験）

受験に向けた復習により得られた知識を定着させます。

日 時	内 容
8月26日(月) 10:00~12:00	解答時間60分(選択式) ※予定

4. 合宿研修（ケーススタディ・面接）

企画・設計・作成などの体験と、グループワークや経験豊富な講師陣との交流から実務に即した知識を習得し、今後に活かせるネットワークも構築します。

9月9日(月)~11日(水) ロワジールホテル豊橋 9月9日(月) 12:00 受付開始予定

日 時	教 科	講 師 (敬称略)
9月9日(月) 13:00~18:00 9月10日(火) 8:30~18:00	ケーススタディ ①木箱包装設計演習 (演習成果の発表・検討)	NX商事(株)
	ケーススタディ ②段ボール包装設計演習 (演習成果の発表・検討)	ソニー(株) ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株) 井上包装管理士事務所 王子コンテナ(株) 王子コンテナ(株) (株)パクトス ----- レンゴー(株) ダイナパック(株) レンゴー(株) ザ・パック(株) 浅野段ボール(株) アイロップ(株)
日 時	教 科	内 容
9月11日(水) 8:00~13:00	面接試験	本講座研修委員との個人面接 (面接時間 約5分)

●包装管理士講座は、公益社団法人日本包装技術協会が運営する人材育成を目的とした講座です。お申込の前に必ずこの規約をご確認の上、受講申込の手続きを行ってください。

包装管理士講座 受講規約

第1条 (本規約の範囲)

本規約は、包装管理士講座（以下、「本講座」といいます。）の実施者である公益社団法人日本包装技術協会（以下、「当会」といいます。）と受講者の間に適用されるものとします。

第2条 (受講者の定義)

本規約における受講者とは、本規約の全条項を理解し同意したうえで出願し受講される方とします。

第3条 (出願方法と出願資格)

- 本講座に出願する場合は、受講案内に記載された所定の方法に従って正確かつ最新の情報を「願書」に記載し、必要書類と共に出願を希望する地域の事務局に提出して行うものとします。なお受付は先着順とし、定員になり次第申込の受付を締め切ります。
- 本講座を出願できる方は以下のいずれかに該当する方とします。
 - 高校卒業以上の基礎学力を有する22歳以上で、包装関連業務（企画開発・製造・調達・物流・営業販売など）を受講時まで満3年以上経験し、所属事業所（代表者もしくは上司）の推薦がある方
 - 大学院や高専等で包装分野に関係する専門的知識や学問を学んだ21歳以上で、包装関連業務（企画開発・製造・調達・物流・営業販売など）を受講時まで満1年以上経験し、所属事業所（代表者もしくは上司）の推薦があり、且つ本講座の研修委員長がその経歴を認めた方

第4条 (出願内容変更の禁止)

第6条の受講契約が成立した後に出願内容を変更することは出来ないとします。ただし受講者の「会社名、所属役職、連絡先※」と推薦者の「氏名、会社名、所属役職、連絡先※」の変更は可能とします。

※連絡先＝郵便番号・住所・電話番号・FAX番号・メールアドレス

第5条 (出願の拒絶)

当会は第3条(2)に該当しない方に対しては出願を拒絶する権利を有するものとします。

第6条 (受講契約の成立)

- 当会は受講者から送付された願書に記載された内容などについて確認・承認後、出願受領書・請求書を受講者に送付するものとします。
- 当会が出願受領書・請求書を受講者に発送することによって、受講契約が成立したものとします。但し、受講者が請求書記載の指定期間内に本規約第7条に従って受講料金全額を完納するまでは、受講の権利は発生しないものとします。

第7条 (受講料金の請求と支払い)

- 第6条に基づき受講契約が成立した場合、受講者は、請求書に記載の期日までに、受講料金の全額を当会が指定する金融機関口座に振り込むことにより支払いを行うものとします。また、振込手数料は受講者が負担するものとします。
- 受講者が請求書の期日までに受講料金全額の振込を行わなかった場合、当会は当該受講契約が解約されたものとみなすことができるものとします。その場合当会は受講者に対し、本規約第8条に従いキャンセル料を請求することができるものとします。

第8条 (受講契約成立後のキャンセル料)

- 第6条に基づき受講契約が成立した後に受講者が受講契約の解約を希望する場合は、受講者は当会に対し「解約の理由」と「西暦を含めた書面の発送日」を明記した当会所定の「解約希望届」を電子メールで送付することとします。
 - 解約希望に対する承諾の判断基準
解約理由が不可抗力に基づくものであることとします。
 - キャンセル日の判断基準
解約希望届に記載された日付から7営業日以内に当会が解約希望届を受領した場合は、キャンセル日は「解約希望届に記載された日付」とします。ただし解約希望届の日付から8営業日以上過ぎた後に当会が解約希望届を受領した場合は、「受領したその日」がキャンセル日となります。
- 当会が当該解約の理由が不可抗力に基づくものであると認め受講契約の解約を承諾する場合は、解約希望届受領から14日以内に受講者に対し、①受講契約の解約の承諾、②キャンセル日、③キャンセル料の有無と金額、④キャンセル料の支払期限を、電話・メール・書面等で受講者に知らせることとします。
- 受講契約の解約は、受講者がキャンセル日に応じた下記キャンセル料を支払い期限までに当会に支払うことを条件に成立するものとします。
キャンセル料（上記第8条(2)に記載の基準に沿ったキャンセル日

を適用します)は下記の通り定めます。
なお、返金時の振込手数料は受講者負担となります。

- 出願受付期間内
受講料は全額返金します。
- 出願受付締切日の翌日から30営業日以内
受講料全額の50%
- 出願受付締切日の翌日から31営業日以降
受講料全額の100%
- 第8条(4)項に基づき受講者が解約希望届を送付した時点で受講者が既に当会に対し受講料金の全部または一部の支払いを行っている場合は、前項に定めるキャンセル料は当該支払い済みの受講料から充当されるものとし、充当後残金がある場合は当会の定めた方法及び期日において当会から受講者に返金するものとします。なお受講者は、当会に支払い済みの受講料金がキャンセル料に満たない場合はその差額を、受講料金を支払っていない場合はキャンセル料の全額を第8条(3)項で当会がお知らせした期限までに支払うものとします。
- 第8条(3)項に定めたキャンセル料の支払い期限から14日を過ぎても受講者が当会にキャンセル料を支払わない場合は、第8条(4)項に定めるキャンセル料の規定に拘らず、キャンセル料は受講料全額の100%になるものとします。

第9条 (本講座開講後の解約)

本講座開講後の受講者からの解約（受講契約の解除）は認められません。また当会は受講者に対し受講料の返金は一切致しません。

第10条 (受講料の返金)

- 第8条に基づき受講契約成立後の受講者の都合による受講の取り止め・欠席については、当会は受講者に対し受講料の返金は一切致しません。
- 第13条に基づき当会が感染症・天災・事故等が理由で受講形態をオンラインに変更するなど一部カリキュラムを変更した場合は、お預かり致しました合宿費用などに関しては、新たに発生する業務の運営管理費に充当させていただきますので受講料の返金は致しません。
- 最少履行人数に達しなかった場合や、その他やむを得ない事情により開講前に本講座を中止にした場合は、その時点で受講料を納入している受講者に対してはその全額を返金致します。

第11条 (受講の権利)

- 受講契約成立後、受講者が請求書に記載された支払い期日に当会指定の口座に受講料を全額支払った時点で受講の権利が発生します。
- 受講の権利は出願した年に開講する本講座を対象とします。
- 第11条(1)項の受講の権利を有している受講者が体調不良など不可抗力な事情が原因で受講前に受講を取り止めた場合は、当会の同意が得られれば、本人もしくは代理の方が次年度の本講座（次年度が中止の場合は次回）まで無料で受講することができるものとします。なお取り止めの理由が業務上の都合の場合はこれを認めないものとします。
- 第11条(1)項の受講の権利を有している受講者が体調不良など不可抗力な事情が原因で受講途中に受講を取り止めた場合、未履修の講義・合宿研修・その他カリキュラムに関しては、次年度（次年度が中止の場合は次回）の講座に限り無料で未履修分の講義・合宿研修・その他カリキュラムを受講することができるものとします。なおその受講の権利は出願した本人以外の第三者に譲渡することはできないものとします。また取り止めの理由が業務上の都合の場合はこれを認めないものとします。
- 当会は第11条(3)と(4)項に記載の権利を有している受講者に対し、次年度の本講座出願期間内に受講の意思確認を行うものとします。
- 当会より第11条(3)と(4)項に記載の権利を有している受講者に対し、次年度の本講座の受講意思確認を行ったにもかかわらず、次年度の本講座の出願期間内に受講申し込みを受講者が行わなかった場合は、当会は受講者が権利を放棄したとみなすことができるとします。また次年度の本講座の受講途中に受講者の意思で受講を取り止め欠席した場合も当会は受講者が受講の権利を放棄したとみなすことができるものとします。
- 第15条(2)に基づき本講座を修了した受講者は、受講した次年度（次年度が中止の場合は次回）までの包装管理士資格認定試験を受験する権利を有することとします。なお当会が認めた場合はその限りではないものとします。

第12条 (受講権利の抹消)

以下のいずれかに該当する場合は、当会は受講者に事前に通知することなく受講の権利を抹消することができるものとします。なお受講の権利を受講途中で失効した場合においても、受講料の返金は一切しないものとします。

- 受講者が本規約のいずれかの条項又は法令に違反したと当会が判断した場合
- 出願内容に虚偽の事実があることが判明した場合
- 公序良俗に違反し、又は犯罪に結びつくおそれのある行為を行

- った場合
- ④ 当会等が保有する著作権、商標権その他知的財産権を侵害した場合
 - ⑤ 当会等の事業活動を妨害する等により当会等の事業活動に悪影響を及ぼした場合
 - ⑥ 当会からの出願者に対する問い合わせ、その他回答を求める連絡（電子メール等の手段を問わない）に対し、当会が定めた期間もしくは通知日より14日以上応答がない場合
 - ⑦ その他、受講者として不適切と当会が判断した場合

第13条（講座開講中止とカリキュラムの変更）

- (1) 健康被害が懸念される感染症の流行、安全が確保できない天災（台風・豪雨・地震など）や事故の発生、その他運営上やむを得ない事情により、当初予定していた対面によるカリキュラムが開講できないと当会が判断した場合は、当会は関係者の安全等を考慮し受講形態をオンラインに切り替えたり開講日時を変更するなど一部カリキュラムを変更することができることとします。また、その際の判断基準は以下の通りとします。
 - ① 感染症
 - 関係者の健康と安全が確保できないと主催者として当会が判断した場合
 - 国・都道府県より社会活動を制限するような法令に基づいた施策が発令された場合、もしくは開講自粛の要請が当会に直接的にあった場合
 - ② 天災・事故
 - 関係者の安全が確保できないと主催者として当会が判断した場合
 - 交通事情により半数以上の受講者の出席が困難であると当会が判断した場合
 - ③ その他
 - 何かしらの事情により予定していた講義会場が利用できなくなった場合
 - 感染症・天災・事故以外の理由で、関係者の健康と安全が確保出来ないと主催者として当会が判断した場合
- (2) 出願受付期間内に募集案内パンフレットで定める最少履行人数に受講希望者数が達しなかった場合は、当会は本講座を開講前に中止にすることができるとします。またその場合は、出願受付終了後に受講者にメールや書面でお知らせします。
- (3) 受講者は第13条(1)と(2)項に記載された内容に同意し出願するものとします。

第14条（講座の欠席）

- (1) 本講座は原則仕事による欠席は認めませんので、受講者は出願前に必ず日程を調整し受講することとします。ただし、受講者本人が罹患及び怪我をした場合や、突発的な家庭の事情（出産・忌引等）が発生した場合は当会の判断により1日のみ欠席を認めるものとします。
- (2) 集合・合宿研修は、いかなる理由であれ欠席された場合は次年度講座で受講頂くものとします。なお開講式が伴う集合・合宿研修を欠席された場合は、その後予定している全ての研修過程も次年度講座で受験頂くものとします。その場合も受講料は一切返金致しません。また受講の権利は次年度（次年度が中止の場合は次回）に限るものとします。

第15条（保証と修了の要件）

- (1) 本講座は受講者が講義内容を完全に習得することを保証するものではないものとします。
- (2) 本講座の全カリキュラムを履修の上、所定の要件を満たした受講者のみ受講修了となることとします。なお、本講座が資格の認定を受けうる講座であっても、受講修了をした上で当会が別に定める要件を満たした場合に限り資格の認定を受けられるものとし、受講修了は資格の認定を保証するものではないこととします。

第16条（資格の認定）

本講座受講の修了や試験の合格など、当会が別途定める要件を満たした場合にのみ、包装管理士資格の認定がなされるものとします。

第17条（称号の公布と使用可能日）

包装管理士の称号は合格証書授与式の日（公布日）より使用可能とします。ただし事情により合格証書授与式が実施できない場合は、合否通知発送月の翌月1日を証書の公布日とします。

第18条（秘密保持及び個人情報の取扱い）

- (1) 受講者は、願書に記載した個人情報を出願先の当会に提供します。又受講を通じて取得した他者の個人情報は本人からの同意を得ずに第三者に開示・提供すること、当会によって開示された協会等固有の技術上、営業上その他事業の情報を第三者に開示・提供することを禁じます。また受講者が本講座の受講を通じて取得・管理している「個人情報」の当該者との間で紛争などが生じた場合は、両者で協議して当該紛争の解決にあたるものとし、当会はその際の責任を負わないものとします。
- (2) 当会は、受講者及び推薦者の登録情報に含まれる氏名・住所・電話番号・メールアドレス等個人を識別できる情報を、当会が別途定めるプライバシーポリシーに基づき適切に取り扱うものとし、なお当会は、受講者の「個人情報」を本講座の協力者（研修委員・講師・事業運営委託会社など）へ提供すること

ができ、受講者はこれに同意するものとします。また当会は、当会による本講座ならびにその他の事業に関する連絡・告知などに使用することができるものとします。

第19条（論文の取り扱い）

- (1) 受講者より提出頂いた論文は採点に係わる当会事務局員及び本講座研修委員以外の第三者に開示・提供することはないものとします。
- (2) 当会は以下により情報漏洩防止を行うものとします。
 - ① 採点者である研修委員との間で守秘義務契約を交わす
 - ② 提出頂いた論文は本講座終了後1年以内に断裁・焼却・溶解など適切な方法で処理を行う

第20条（講座内容に関する権利及び受講者の禁止事項）

- (1) 本講座に含まれる一切のノウハウ、アイデア、手法その他情報、本講座において提供される教材及び書籍、ビデオ等の記録媒体、配信映像、その他一切の著作物、ならびに本講座で使用される一切の名称および標章（以下併せて「講座内容」という。）についてのノウハウ、著作権及び商標権その他一切の権利は全て当会又は当会の委託先に帰属しており、受講者はこれらの権利を侵害する行為を一切行ってはならないものとします。
- (2) 受講者は、講座内容を自己の学習の目的にのみ使用するものとし、いかなる方法においても、受講者個人の私的利用の範囲を超え、若しくは範囲外で使用したり、又は第三者に対して、公開、貸与、頒布、譲渡、修正、翻訳、使用許諾等を行ってはならないものとします。
- (3) 受講者は、別途当会が明示的に許可する場合を除き、講座内容を複製（撮影・録画・録音・ダウンロード・キャプチャー取得による保存等）したり、その他いかなる方法または媒体を用いるかは問わず記録することはできないものとします。
- (4) 当会は本講座の受講風景等をカメラ等で撮影・記録し、当会のWebサイトなど各種広告媒体や本講座の教材等に、本講座の案内や実施報告をすることを目的としてその記録を利用することができるとします。受講者は記録された受講者の映像が上記の範囲内で使用されること、及び当該映像に対する一切の権利が当会に帰属することを承諾するものとします。この場合において、当会は受講者に対し報酬その他一切の金銭的義務を負わないものとします。

第21条（受講における遵守事項）

- 受講者は本講座を受講するにあたり、次に掲げる事項を遵守するものとします。
- ① 受講においては当会及び講師の指示に従って頂き、他の受講者の迷惑になる行為や言動などをしないこと
 - ② 本講座の受講において知り得た内容につき、その完全性、有用性、正確性、将来の結果などについて、当会及び講師に一切の責任を求めないこと
 - ③ 他の受講者に対して、マルチレベルマーケティング、ネットワークマーケティング、その他連鎖販売取引への勧誘、宗教等への活動の勧誘、商品及びサービス等の購入の勧誘並びにセミナー等への勧誘（これらの勧誘とみなされる一切の行為を含む）を行わないこと
 - ④ 受講に該当する本規約内の条項を遵守すること

第22条（損害賠償）

受講者が本規約及び法令の定め違反したことにより、当会や事業運営委託会社及び講師を含む第三者等に損害を及ぼした場合、当該損害を賠償する責任を負うものとします。

第23条（免責事項）

本講座の遅滞、変更、中断、中止、情報等の流失又は消失、その他本講座に関して発生した受講者又は第三者の損害について、当会等は一切の責任を負わないものとします。

第24条（条項等の無効）

本規約の条項のいずれかが管轄権を有する裁判所によって違法又は無効であると判断された場合であっても、当該条項以外の本規約の効力は影響を受けないものとします。

第25条（協議事項）

本規約の解釈について疑義が生じた場合又は定めのない事項については、信義誠実の原則に従い協議の上、円滑に解決を図るものとします。

第26条（規約の改定）

当会は、必要に応じて本規約を改定することができるものとします。その場合、当会ホームページや受講案内への掲載及びその他方法により公開・通知するものとします。

第27条（合意管轄）

本規約または本講座に関する一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

以上
2021年1月1日施行
2023年1月1日改定

受講願書の記入にあたって

〈お願い〉

P5に記載されている「オンライン講義に関する確認のお願いについて」と、P16～17に記載されている「受講規約」は出願前に必ずご確認ください。

1. 「受講規約への同意」及び「オンライン講義」に対する確認欄に必ずチェック (☑) を記入してください。
2. 添付頂く顔写真の裏面には必ず受講者のお名前を記載してください。
3. 所在地には受講者の所属先住所を記載してください。
4. 選択欄の記入方法について
出願先：全国6地域の中から1つを選択し○を付けてください。
※出願先が合格証書授与式の参加地域となります。
専攻コースと：①生活者包装コースか②輸送包装コースのどちらかに○を付けてください。
ケーススタディ 生活者包装コースを選択された方は、①食品包装演習、②医薬品包装演習、③生活商品包装演習の中からいずれか1つを選択し、輸送包装コースを選択された方は、①木箱包装設計演習、②段ボール包装設計演習のいずれか1つを選択し、演習名に○を付けてください。
材料教科と専：①オンライン受講か、②対面受講のどちらかに○を付けてください。
門教科の受講方法 ※統括教科はオンライン受講のみです。
集合研修と合宿研修は対面受講で場所は愛知県(豊橋市)です。
※材料教科と専門教科の対面受講の場所は東京都(中央区)です。
※オンラインと対面共に定員によりご要望にお応えできない場合があります。
※出願受付後の変更は出来ません。
※感染症等の影響により対面受講をオンライン受講に変更頂く場合があります。
5. 本講座の受講には、所属事業所(代表者)、または上司の推薦が必要となりますので必ずご記入ください。
なおご記入がない場合は受付できませんのでご注意ください。
6. 願書は出願先欄で選択した地域の事務局へ送付してください。送付先は下記にてご確認ください。
※仙台は「福岡事務局」に願書を送付してください。

【注意】

- ① 受講者の名刺を必ず1枚同封してください。
- ② 出願と合わせて日本包装技術協会への入会を希望される場合は、必ず出願前にJPIホームページより入会手続きを行ってください。その際、会社名の後に“包装管理士講座受講”と入力してください。※P7参照
- ③ 記入漏れ・写真の添付がない・名刺を同封していない・経験年数が満たないなど、不備や記載内容に誤りがある場合は受付致しません。

出願事務局一覧

○お問合せ・願書送付先 (地域別に受付いたします。下記事務局に願書並びに名刺1枚を送付ください。)

- | | |
|----------------|--|
| *東京事務局 | 公益社団法人日本包装技術協会 本部 包装管理士講座係 [小橋・佐藤]
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階 TEL. (03)3543-1189 FAX. (03)3543-8970 |
| *大阪事務局 | 公益社団法人日本包装技術協会 関西支部 包装管理士講座係 [多林・花光]
〒550-0014 大阪市西区北堀江1-1-27 イマイビル4階 TEL. (06)6532-1189 FAX. (06)6532-1179 |
| *名古屋事務局 | 公益社団法人日本包装技術協会 中部支部 包装管理士講座係 [長田]
〒460-0003 名古屋市中区錦3-5-21 錦HOTELビル3D TEL. (052)228-2930 FAX. (052)228-2980 |
| *福岡事務局
(仙台) | 公益社団法人日本包装技術協会 西日本支部 包装管理士講座係 [森永]
〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-1 日通ビル5階 TEL. (092)272-5632 FAX. (092)272-5635 |
| *札幌事務局 | 公益社団法人日本包装技術協会 北海道支部 包装管理士講座係 [小寺]
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センタービル6階 (北海道生産性本部内)
TEL. (011)241-8591 FAX. (011)241-3898 |

--	--	--	--

第59期 包装管理士講座願書(2024年度)

法	個	般			
---	---	---	--	--	--

公益社団法人日本包装技術協会 御中

※受講願書に記入漏れがある場合は受付致しません。
※受講者の名刺を1枚同封の上、本紙をお送りください。(FAX不可)

2024年			事務局欄		
-------	--	--	------	--	--

同意欄	右記2点に同意頂き、 <input type="checkbox"/> に必ず <input checked="" type="checkbox"/> してください	<input type="checkbox"/>	●第59期包装管理士講座の受講規約を確認し同意します。 ●ZOOMによるオンライン講義に同意し、ZOOMへの接続テストを行いました。
------------	--	--------------------------	---

ふりがな	性別	職 種	顔写真貼付 (3.5×4.5cm) 貼付ない場合は 受付致しません		
氏 名	1. 男 2. 女	1. 技術・開発系 2. その他			
生年月日(西暦)					受講時22歳未満不可
会社名	*出願と合わせて新規入会頂く場合はHPから事前に入会手続きを行ってください			会員種別 1. 法人会員 2. 個人会員 3. 一般	
所属・役職	所在地(〒) (-)		TEL. ()		
E-mail.					

TEL. ()

E-mail.

職 務 経 歴	最終学校名	年 卒

包装経験年数			宿泊部屋アンケート(①~③の何れかに○を付けてください) ①禁煙 ②喫煙 ③事務局一任 *シングルもしくはツインのお部屋に1名で宿泊頂きます。 *宿泊施設の都合上、禁煙・喫煙のご要望にお応えできない場合がございます。
*受講時まで既に満3年以上の経験が必要です			

○を付けて 選択して 下さい	1. 出願先 (合格証書授与式参加会場)	①東京 ②大阪 ③名古屋 ④福岡 ⑤札幌 ⑥仙台 (仙台の願書送付先は福岡事務局)	
	2. 専攻コースと ケーススタディ	①生活者包装コース	①食品包装演習 ②医薬品包装演習 ③生活商品包装演習
		②輸送包装コース	①木箱包装設計演習 ②段ボール包装設計演習
3. 材料教科と専門 教科の受講方法	①オンライン受講 ②対面受講 (場所:東京都中央区) *統括教科はオンライン受講、集合研修及び合宿研修は対面受講です。 *定員によりご要望にお応えできない場合がございます。 *出願受付後の変更は出来ません。 *状況により対面受講をオンライン受講に変更頂く場合があります。		

推薦書

公益社団法人日本包装技術協会 御中
私は第59期包装管理士講座の受講規約を確認の上同意し、本受講願書に記載の者が受講適格者であることを認め推薦致します。

推薦者名		TEL. ()
E-mail		
会社名		
所属・役職名		
所在地(〒)	(-)	

注) 枠内の必要事項を楷書ではっきりご記入ください。

--	--	--	--

(切り取り線)

本講座は教科ごとに運営面で下記皆様よりサポート頂いております。

第59期包装管理士講座 テクニカルサポーター(順不同・敬称略)

材料教科

- 大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 ビジネスクリエイションセンター プロダクト開発本部
プロダクト開発部4グループリーダー 辻本 隆亮(包装管理士)
- 日本山村硝子(株) ガラスびんカンパニー 生産本部技術開発部 型成形チームリーダー 大西 邦和
- 石塚硝子(株) 業務監査部 リーダー 吉田 宜史(包装管理士)
- リスパック(株) 開発本部 真空技術開発部 真空チーム チームリーダー 水谷 善教(包装管理士)
- 東洋紡(株) パッケージング開発部 部長 向山 幸伸
- レンゴー(株) 包装技術第二 中国・四国・九州包装技術課 担当部長代理 牧内 隆文(包装専士)

専門教科(生活者包装)

- TOPPAN(株) 関西TIC本部企画販促部 シニアマーケティングディレクター 江頭 郁夫
- (株)サンライト PCCグループ グループマネージャー 北原 圭介(包装管理士)
- (株)Mizkan 仕入統括部 大熊 強志(包装専士)
- フタムラ化学(株) 中部統括開発グループ グループリーダー 花市 岳(包装専士)
- あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター センター職員

専門教科(輸送包装)

- パナソニックホールディングス(株) マニュファクチャリングイノベーション本部 企画部モノづくり企画課
主任技師 大塚 広樹(包装管理士)
- アイロップ(株) 包装技術部部長 脇田 明和(包装管理士)
- (地独)大阪産業技術研究所 和泉センター製品信頼性研究部 生活科学・輸送包装研究室 主任研究員
細山 亮
- 名港海運(株) 営業第三部 部長 鳥居 晃好(包装管理士)
- (株)デンソーロジテム 機能本部経営企画室地域分室課 リーダー 小林 隆人(包装専士)
- あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター センター職員
- 三菱電機ロジスティクス(株) 輸出入管理部運用管理課 課長 浅井 靖久(包装管理士)
- ナビエース(株) 取締役中部・関西営業本部長 大山 孝一(包装管理士)
- TOTO(株) ウォシュレット生産本部 ウォシュレット開発第三部 主席技師 宮城 兼一(包装専士)
- 王子コンテナ(株) 営業本部 CS推進部 包装技術(九州北工場駐在) 担当部長
門田 光史(包装管理士)
- アルプスアルパイン(株) グローバルSCM部SCM1G 渡邊 誠(包装管理士)
- 東北小簀(株) 代表取締役 齋藤 清(包装管理士)
- ホクレン農業協同組合連合会 施設資材部 資材課 包装専門技師 内藤 信二(包装管理士)

公益社団法人日本包装技術協会の事業案内

〔目的〕

本会は、広く包装に関する知識及び技術の普及推進に努め、生産、流通及び消費の分野における合理化を図ると共に、包装に係わる人材の資質向上に努め、もって我が国経済の発展、国民の社会生活の向上及び国際社会への貢献等、我が国の公益増進に寄与することを目的とする。

〔事業概要〕

本会は、目的を達成するため、次の事業を行う。

- ◆包装に関する調査及び研究開発
- ◆包装に関する情報資料収集、統計等及び提供
- ◆包装に関する開発と啓発
- ◆包装に関する教育の実施と人材の育成
- ◆包装に関する相談及び指導
- ◆包装に関する規格の作成、制定及びそれらの国内外への啓発活動
- ◆包装に関する内外関係機関との交流及び協力
- ◆包装に関するグローバルな活動
- ◆包装に関する展示会の開催
- ◆包装に関する書籍の出版及び販売

●入会手続

入会は当会HPよりお願い致します。なお、当会定款で定められた入会規則に基づき、次の基準を満たす方の入会を承認します。

1. 本会の目的を承認する
2. 本会の規約を厳守することを承認する
3. 他の会員との交流親睦を積極的に行う者

	法人会員	個人会員
入会金	20,000円	10,000円
年会費(一口)	120,000円	45,000円

1. 講座、セミナー、育成事業

包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業

- 包装管理士講座 ●包装専士講座(包装アカデミー)
- 全日本包装技術研究大会 ●各種セミナー
- 各種コース ●月例研究会 ●各種包装懇話会 等

2. 体験活動等交流事業

包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業

- 海外視察団 ●企業見学会 等

3. 表彰、コンクール活動等啓発・普及事業

包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業

- 日本パッケージングコンテスト ●木下賞 等

4. 展示会事業

包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業

- 東京国際包装展 ●暮らしの包装商品展 等

5. 調査、資料収集事業

委託による調査及び資料収集が中心となっている事業で、結果は報告書や規格となって一般に公表される

- ISOに関する活動 ●JISに関する活動
- 包装産業統計調査 等

6. 出版事業

毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行



公益社団法人日本包装技術協会

本 部 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1
東劇ビル10階
TEL. 03(3543)1189 FAX. 03(3543)8970

関西支部 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-1-27
イマイビル4階
TEL. 06(6532)1189 FAX. 06(6532)1179

中部支部 〒460-0003 名古屋市中区錦3-5-21
錦HOTELビル3D
TEL. 052(228)2930 FAX. 052(228)2980

西日本支部 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-1
東北支部 日通ビル5階
TEL. 092(272)5632 FAX. 092(272)5635

北海道支部 〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目
北海道経済センタービル6階〔北海道生産性本部内〕
TEL. 011(241)8591 FAX. 011(241)3898

【個人情報について】 記載頂きました個人情報は「包装管理士講座」の事業運営に際して、参加者名簿等の資料を作成し、講師、参加者等、関係者へ配布致します。その他、当会が主催・実施する各事業のご案内のために利用させていただきます。また、情報は日本包装技術協会と日本包装管理士会で共有させていただきます。また、法令に基づく場合を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。